

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	---	----------	-----------

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	0748 庁舎維持管理経費	会計	01	一般会計
基本施策	99 対象外	款	02	総務費
施策		項	01	総務管理費
		目	01	一般管理費
		細目	102	庁舎管理経費
		細々目	01	庁舎維持管理経費
基本計画該当頁		コード	650100	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号		担当部課	阿山支所 総務振興課	氏名
		名称		連絡先
				川川文秀
				43 - 1543 (内線)

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
地域住民、来庁者、職員 阿山支所庁舎・多目的集会所		市民及び職員の安全確保に努めるとともに、適切な職場環境を維持し、市民が利用しやすい施設環境をつくり 良好な自然環境を整えることができる。
(※対象件数)		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		市町庁舎等耐震診断補強事業、河合地区(馬場)特定環境保全公共下水道事業 伊賀市庁舎管理規則、下水道法、伊賀市公共下水道条例、同管理規則
事業内容	状況変化等	
現状維持を基本とし、庁舎・設備の維持管理、清掃業務等を実施。平成19年度は、大会議室照明器具修繕、車庫シャッター修繕、消防誘導灯修繕等を行った。平成20年度は耐震診断調査を行い、その後、耐震計画及び実施設計委託(8,200千円)、耐震改修工事を行う。平成21年度に公共下水道排水設備工事予定(概算6,000千円)平成22年度以降空調設備改修工事を予定(概算100,353千円)	阿山支所庁舎は、昭和55年に建築されており、28年が経過した。安全確保を最優先で維持管理を実施しているが、施設全体に老朽化が進んでおり、庁舎管理に係る修繕料、維持管理が高額になってきている。また、平成20年度には、大規模地震等の災害時の防災拠点施設となるため、耐震診断を行う。平成20年8月より公共下水道の供用開始のため、負担金と基本使用料が発生し、平成21年度には、公共下水道排水設備工事(公共共々~宅内)を予定、将来的に庁舎空調更新が必要である。平成20年度4月から、保健福祉課が阿山支所庁舎に移転し、さらに河合地区センターが多目的集会所に設置されたことで、光熱水費、燃料費の使用量が増大する。	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
庁舎清掃面積(日常)	㎡	目標	2,254	目標	2,254
		実績	2,254	実績	2,254
嘱託職員、臨時職員雇用(宿日直業務)	人数	目標	6	目標	6
		実績	6	実績	6
年間電気使用量	Kwh	目標	155,000	目標	150,000
		実績	153,359	実績	149,185
年間水道使用量	㎡	目標	5,000	目標	4,600
		実績	4,728	実績	3,643
光熱水費	千円	目標	7,900	目標	7,777
		実績	7,163	実績	6,222

運営体制

1 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
2 委託先	() 人
3 配置(予定)人員	千円
4 年間運営費	
5 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
光熱水費の削減率	目標値は、当初予算額とする。庁舎の電気、水道料の削減を図る。削減率=100-(支出額/予算額×100)	%	目標	5	目標	5
修繕工事件数	修繕することにより利用者の安全と施設の快適さを図る。	件数	目標	13	目標	13
			実績	9.3	実績	19.9
			目標	13	目標	13
			実績	13	実績	23

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	市民及び職員の安全確保及び快適な職場環境を守るため必須である。
有効性	3	庁舎の老朽化が進み修繕費用が増大しているが、他の経費の節減に努め、施設環境を維持している。
達成度	3	管理業務の内、清掃や設備監視、設備保守などは民間事業者者に委託し、安全・快適な状態を保っている。
効率性	3	委託業務の業者選定を競争入札、見積合わせを行うことにより委託料の縮減に成果をあげているが、限界にきている。

総合評価

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	今後の課題として、耐震改修工事、公共下水道排水設備工事、空調設備改修工事を計画していく必要がある。

年度	進捗状況	平成18年度 決算内容			平成19年度 決算内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	←→	委託料		6,741	委託料		5,445	委託料(耐震含む)		6,583	委託料		7,000
工事	←→	報酬・賃金		4,641	報酬・賃金		4,656	報酬・賃金		4,656	報酬・賃金		4,700
		修繕料		2,153	修繕料		3,012	修繕料		630	修繕料		630
		光熱水費		7,162	光熱水費		6,222	光熱水費		7,877	光熱水費		7,877
		燃料費		1,186	燃料費		1,404	燃料費		1,546	燃料費		1,600
		工事費その他		4,340	施設改修費		295	施設改修費		295	施設改修費		295
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	26,825	事業費計(A)	Σ	21,484	事業費計(A)	Σ	22,042	事業費計(A)	Σ	22,357
事業投入人員		人件費(B)	1.5	人	10,800	人件費(B)	1.5	人	10,800	人件費(B)	1.0	人	7,200
フルコスト (A)+(B)				37,425				32,284					29,557

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	金額	(B) 人件費	金額	(C) 事業費	金額	(D) 事業費	金額
国庫支出金							
Aの財源内訳							
県支出金							
地方債							
受益者負担							
その他							
一般財源	26,825		21,484		22,042		22,357
計	26,825		21,484		22,042		22,357
備考							
特定財源の名称・補助基本額・率							
地方債の区分と充当率等							